

授業科目	*相談援助の理論と方法 I				単位	4		
履 修	必修	関連資格	社会福祉士 保育士		ナンバリング	WE21205J		
開講年次	2	開講時期	通年	該当DP	DP1-2 DP3-1			
担当教員	高口 恵美							
授業概要	相談援助の対象となる人の生活上の問題を、人と環境との相互作用に生じるものとして理解する枠組みについて解説する。社会福祉サービスを必要としている人びとのニーズを把握し適切なサービスを提供する、相談援助の過程とそれに係る知識と技術について解説する。 なお、必要に応じmeet等を使用し遠隔にて実施する。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 相談援助における人と環境との相互作用に関する理論について説明できる。 2. 相談援助の過程とそれに係る知識と技術について説明できる。 3. 相談援助におけるめざすべき援助関係の形成について説明できる。 4. 相談援助における援助関係形成上に生じる問題について考察することができる。 5. 相談援助のための面接技術について説明できる。 6. ソーシャルワーカーが関わる社会問題を理解し、ソーシャルワーカーの役割について考察することができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	70						70	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)					30		30	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
ソーシャルワーカーが行う相談援助に関する理論および方法について理解し、他の人に正確に伝えることができる。				ソーシャルワーカーが行う相談援助に関する理論および方法について理解することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)

1	相談援助とは(1) ソーシャルワークの定義と枠組み、ソーシャルワークを構成する要素について解説する。	講義	復習: 該当部分の復習	60
2	相談援助とは(2) ソーシャルワークの職場、ソーシャルワーカーが所属する組織について解説する。	講義	復習: 該当部分の復習	60
3	相談援助の構造と機能(1) ソーシャルワークの構造(人と環境との関係)について解説する。	講義	復習: 該当部分の復習	60
4	相談援助の構造と機能(2) ソーシャルワークの構造(人および社会資源についての見方)について解説する。	講義	復習: 該当部分の復習	60
5	相談援助の構造と機能(3) ソーシャルワークにおけるニーズについて解説する。	講義	復習: 該当部分の復習	60
6	相談援助の構造と機能(4) ソーシャルワークの機能について解説する。	講義	復習: 該当部分の復習	60
7	人と環境の相互作用(1) システム理論の概要および歴史的発展段階について解説する。	講義	復習: 該当部分の復習	60
8	人と環境の相互作用(2) システム理論によるソーシャルワーク論について解説する。	講義	復習: 該当部分の復習	60
9	相談援助における援助関係(1) 相談関係の意義、援助関係の形成プロセスに影響する要因について解説する。	講義	復習: 該当部分の復習	60
10	相談援助における援助関係(2) 援助構造と援助関係、ソーシャルワーカーに求められる自己覚知について解説する。	講義	復習: 該当部分の復習	60
11	相談援助における援助関係(3) 相談関係とミクロからマクロ実践領域について解説する。	講義	復習: 該当部分の復習	60
12	相談援助のための面接技術(1) 相談援助における面接の目的と面接の展開について解説する。	講義	復習: 該当部分の復習	60
13	相談援助のための面接技術(2) 面接において用いる技術とコミュニケーションおよび面接の形態について解説する。	講義	復習: 該当部分の復習	60
14	前期のまとめ・小テスト	講義	復習: 該当部分の復習	60
15	相談援助のための記録の技術(1)(2) 記録の意義と活用目的、記録の種類について解説する。記録の方法と情報通信技術(IT)の活用および倫理的配慮(個人情報保護など)について解説する。	講義	復習: 該当部分の復習	60
16	相談援助の展開過程 1(1) 相談援助の展開過程の流れについて説明する。また、前期の講義内容における重点項目について解説する。	講義	復習: 該当部分の復習	60
17	相談援助の展開過程 1(2) ケース発見について解説する。	講義	復習: 該当部分の復習	60
18	相談援助の展開過程 1(3) インテーク、問題把握からニーズ確定について解説する。	講義	復習: 該当部分の復習	60

19	相談援助の展開過程 1(4) アセスメントのための情報収集、アセスメントから支援 標的・目標設定、プランニング、支援の実施について 解説する。	講義	復習:該当部分の復習	60
20	相談援助の展開過程 2(1) モニタリングの目的、対象、方法、内容について解説 する。	講義	復習:該当部分の復習	60
21	相談援助の展開過程 2(2) 再アセスメントと支援の強化について解説する。	講義	復習:該当部分の復習	60
22	相談援助の展開過程 2(3) 支援の終結と効果測定、評価、アフターケア、予防的 対応とサービス開発について解説する。	講義	復習:該当部分の復習	60
23	相談援助のためのアウトリーチの技術 アウトリーチの意義と目的、具体的な方法について解 説する。アウトリーチについて事例を用いて学ぶ。	講義	復習:該当部分の復習	60
24	相談援助のための契約の技術 契約の意義、目的、契約の方法について解説する。	講義	復習:該当部分の復習	60
25	相談援助のためのアセスメント技術 アセスメントの特性、相談的關係、面接、アセスメント ツール、アセスメント面接で得た情報の使い方につ いて解説する。	講義	復習:該当部分の復習	60
26	相談援助のための介入の技術 介入の意義と目的、介入方法について解説する。	講義	復習:該当部分の復習	60
27	相談援助のためのモニタリング、再アセスメント、効果 測定、評価の技術 モニタリング、再アセスメント、効果測定、評価とサー ビス開発について解説する。	講義	復習:該当部分の復習	60
28	相談援助のための交渉の技術 交渉の意義と目的、交渉の方法およびプレゼンテー ション技術について解説する。 試験	講義	復習:該当部分の復習	60
29				
30				
理解に必要な予備 知識や技能	本科目は、相談援助演習や相談援助実習および相談援助実習指導と連結する重要な科目です。相談援助 演習および相談援助実習での学びと関連づけて整理することが必要です。			
テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会編『相談援助の理論と方法 1』第 3 版 中央法規出版(2015)			
参考図書・教材/ データベース・雑誌 等の紹介	適宜、講義内で提示します。			
授業以外の学習 方法・受講生への メッセージ	授業で学んだ内容については、ノート等を活用し整理するようして下さい。また、新聞や文献等を用いて、社 会における生活問題などについても理解を深めて下さい。			

達成度評価に関するコメント	試験およびレポート外の提出物については、前期及び後期における初回の講義(1回目および16回目)で説明します。
---------------	--